

## とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年9月10日発行 第17号  
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

### みんなの学校応援団 の活動を紹介 <その7>

更別中央中1年生 「さらべつほーぷ」の方から「誤解を生じさせないためのコミュニケーションの方法」を学ぶ

8月26日、5、6校時に学校応援団である「さらべつほーぷ」のご協力をいただき、更別中央中1年生が「伝えたいことを、相手に伝わるように伝える」を目標に授業をしていただきました。

「さらべつほーぷ」は診療所の山田医師を中心としたメンバーで、健全な自尊心を高め、自分らしくよりよい生き方を目指し、明るい家庭づくり、地域づくりを推進することを目的に立ち上げられた団体です。

4年ほど前から中央中学校で、その後は2つの小学校でも授業をしていただけるようになりました。



今回は、ほーぷの三浦さん(村保健師)が中心となり、他5名のメンバー、また中学校の先生方も一緒に授業を進めました。

#### 【授業の流れ】

- ①小学校5、6年時の授業の振り返り
  - 5年生 個性があるって素敵なこと (よいところを探そう)
  - 6年生 なりたい中学生の目標をもつ (自分に前向きな言葉をかける)

②自分も周りの友だちも成長し、考え方、価値観は変わっていくもの

だからこそ、ひとつひとつのコミュニケーションを大事にしていこう

③コミュニケーションの手段は

- 言語的コミュニケーション(言葉)
- 非言語的コミュニケーション(表情・身ぶりなど)がある

④誤解を避ける伝え方を考え確認する。

- 言語的・非言語的手段で伝える
- 具体的に伝える
- 分からないことは質問する
- 言い換える など

⑤誤解を避けるスキルをもとに、生徒同士で相手に伝える方法を練習する



さらべつほーぷのメンバーが伝え方の実演をする  
「外で待ってるよ」「何時ごろ?」「外って場所はどこ?」

#### 【生徒の感想から】

コミュニケーションをとるのは、いつも普通にやっているけど、そこではだいたいの情報しか得られていない。もっと詳しく聞く方法や誤解を招く原因などを知れたのでうまく活用していきたいと思います。

## 小々連携進んでいます スムーズに中学校で一緒になれるように

8月21日、更小において、更小と上更小の1、2年生が学年ごとに合同で授業を行いました。

同じ中学校へ進学する児童が、早い段階から共に活動してお互いを知っていることは大事なことです。

昨年度から全ての学年で更小と上更小の交流授業を推進しています。



【2年体育 鬼ごっこ】